

2025年度 船員災害防止実施計画(概要)

1. 船員災害の減少目標

- 第11次基本計画期間の年度平均値と比較し、以下のとおり。

死傷災害	死傷災害発生率	全体で▼11% (一般船舶等▼15%、漁船▼6%)
	死亡・行方不明発生人数	全体で▼20%
疾病	疾病発生率	全体で▼9% (一般船舶等▼8%、漁船▼10%)
	メンタルヘルス系疾病の発生人数	全体で▼23%

2. 重点を置く災害の種類

- 2023年度発生状況から以下のとおり。

死傷災害	転倒、はさまれ、動作の反動・無理な動作、転落・墜落：全体の約60% 海中転落：死亡・行方不明者の75%
疾病	生活習慣病：全体の約30%

3. 主要対策

- 第12次基本計画で定めた主要対策を引き続き推進（新規事項下線）

(1) 死傷災害防止対策

作業時中心	船内設備・作業方法等再検討、作業基準遵守、墜落制止用器具徹底、係船設備点検保守
海中転落・海難	救命衣着用、基本訓練、生存対策講習会受講、小型旅客船特定教育訓練
漁船	船内設備・作業方法等再検討、 <u>ライフジャケット着用の徹底、安全推進員等の養成、作業安全学習教材の活用推進、周知啓発キャンペーンの展開、STCW-F条約の批准</u>

(2) 疾病防止対策

健康確保	健康検査結果活用、食生活改善、長時間労働、 <u>全国健康保険協会と連携した健康課題の改善</u>
感染症予防	感染症予防対策
ハラスメント	ハラスメント防止措置、 <u>顧客等からのハラスメント検討</u>
メンタルヘルス	ストレスチェック実施、 <u>メンタルヘルス講習会、メンタルヘルス相談窓口の普及</u>

(3) 死傷災害・疾病 防止対策(共通)

高年齢・若年	職場環境改善、健康体力状況把握、安全衛生教育
その他	外国人船員とのコミュニケーションの充実

4. その他重要事項

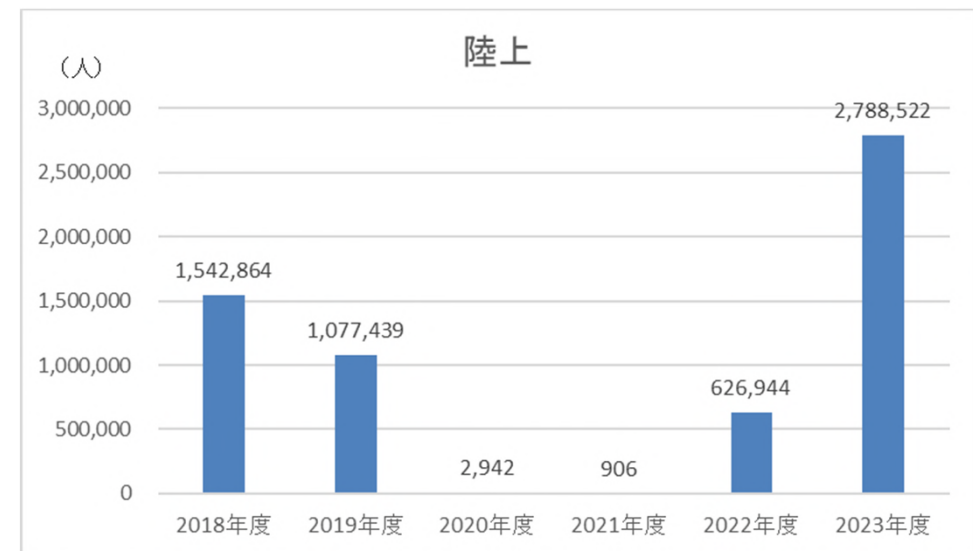
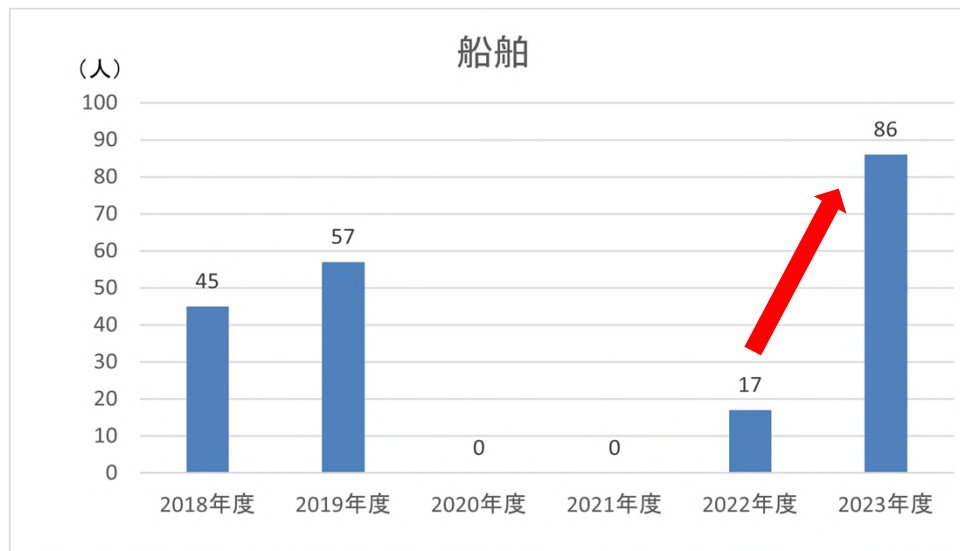
安全衛生管理体制	船内労働安全衛生マネジメントシステム、安全衛生教育実施
居住環境	快適な居住環境、作業環境整備改善

- 2023年度における実績は、死傷災害（漁船、全体、死亡等人数）については、減少目標を達成したが、死傷災害（一般船舶等）及び疾病については、減少目標を達成しなかった。

		(参考) 第11次実績 年度平均	第12次				
			第12次・2024年度目標		2023年度実績		
			発生率 /発生件数	年度平均発生率 /発生件数	第11次年度平均 からの減少率	発生率	第11次年度平均 からの増減(率)
発生人数 船員数							
死傷 災害	一般船舶等	0.61%	0.53%	13%減	0.60%	2%減	B
					264人		
					44097人		
	漁船	1.24%	1.17%	6%減	1.00%	19%減	A
					213人		
					21196人		
	全体	0.82%	0.73%	11%減	0.73%	11%減	A
					477人		
					65293人		
	死亡等人数	19.2人	15人	20%減	8人	58%減	A
疾病	一般船舶等	0.75%	0.69%	8%減	0.78%	4%増	D
					343人		
					44097人		
	漁船	0.73%	0.66%	10%減	0.76%	4%増	D
					161人		
					21196人		
	全体	0.74%	0.67%	9%減	0.77%	4%増	D
					504人		
					65293人		
	メンタルヘルス 系疾病人数	22.2人	20人	10%減	32人	44%増	D

(注)「一般船舶等」：貨物船、油送船、L P G 船、コンテナ船、旅客船、その他の船舶
「メンタルヘルス系疾病人数」：精神行動障害のうち、統合失調症、気分障害、神経症、その他の精神行動障害
「死亡等人数」：死亡・行方不明
「疾病」：新型コロナウイルス感染症（2023年度：294人）を除く。
「目標達成状況」：A 目標値に達した B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある
C 変わらない D 悪化している

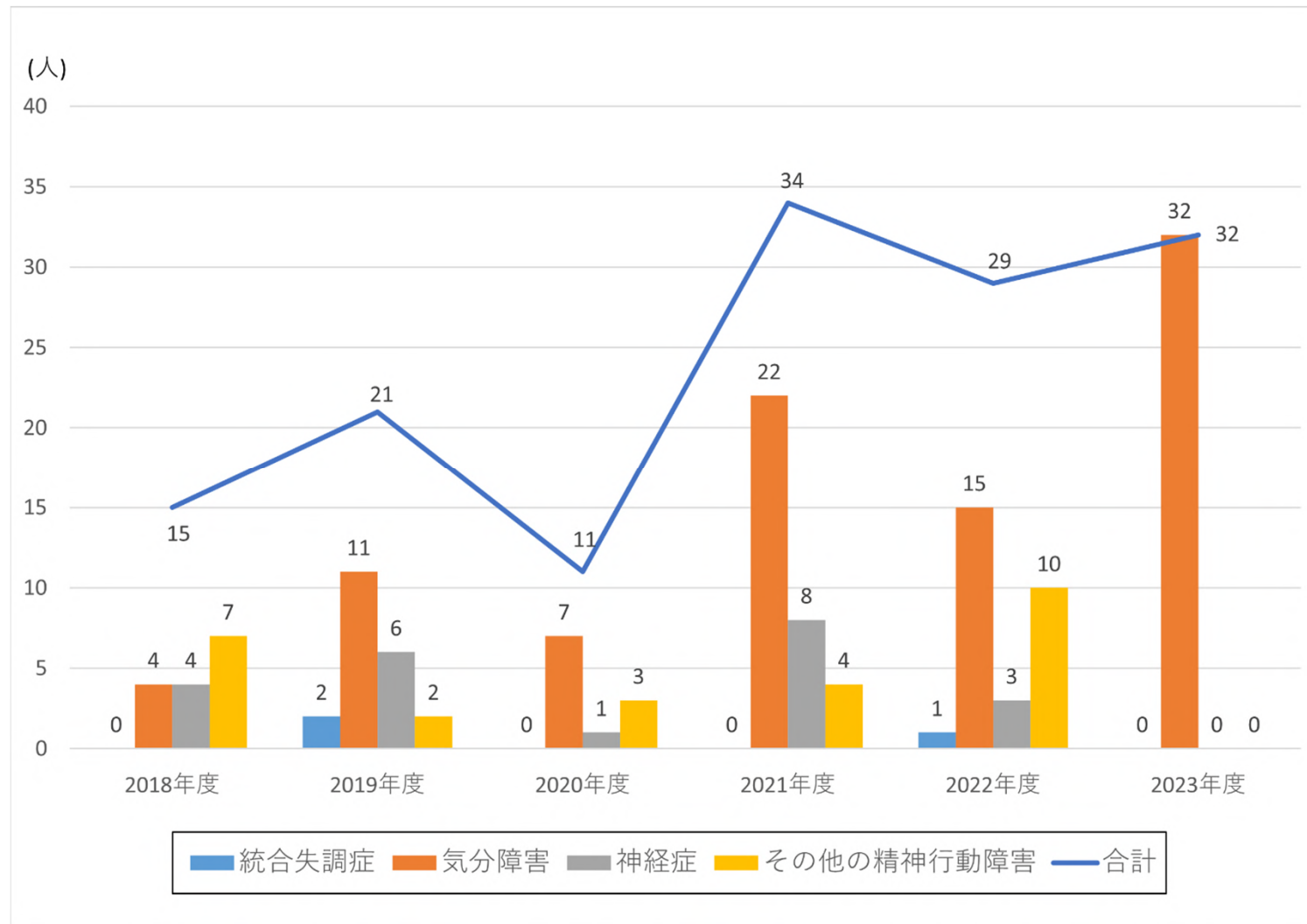
- 疾病（一般船舶等、漁船、全体）については、第11次基本計画年度平均（2018～2022年度）からの悪化がみられる。
- 2023年度のインフルエンザの発生件数が、全体で86人（86/504人）となり、前年度（17/403人）と比べ約5倍に増加したことが影響している。
- 近年の陸上の患者報告者数の推移と比較すると、船員の流行は、陸上におけるインフルエンザの流行に影響を受けていると考えられる。



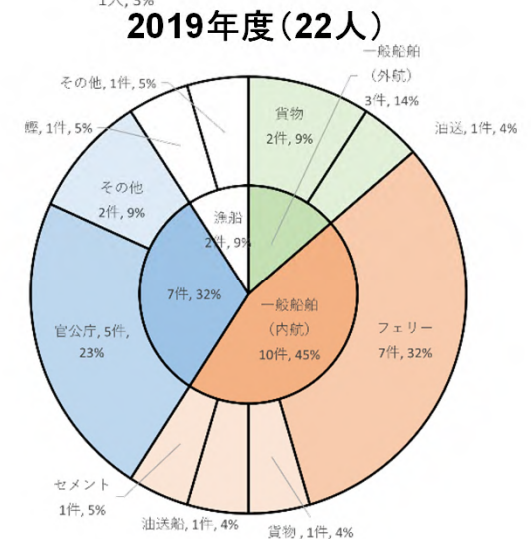
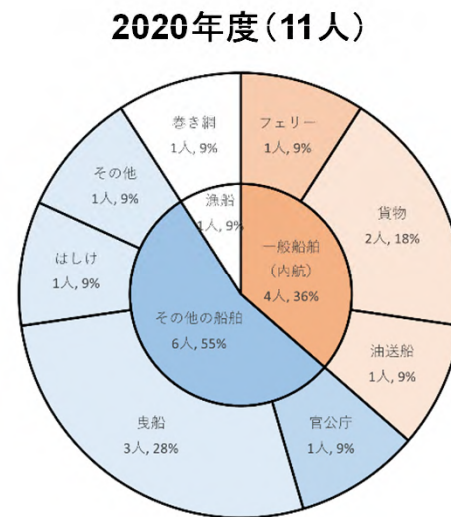
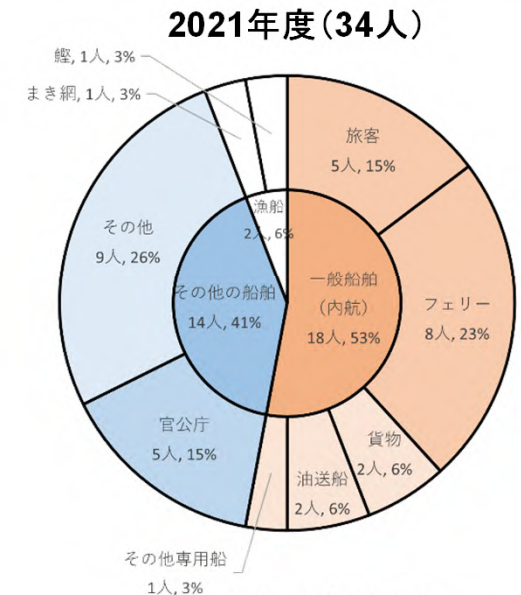
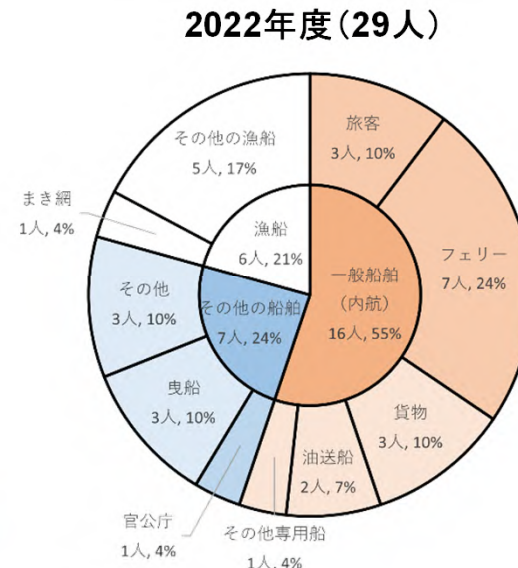
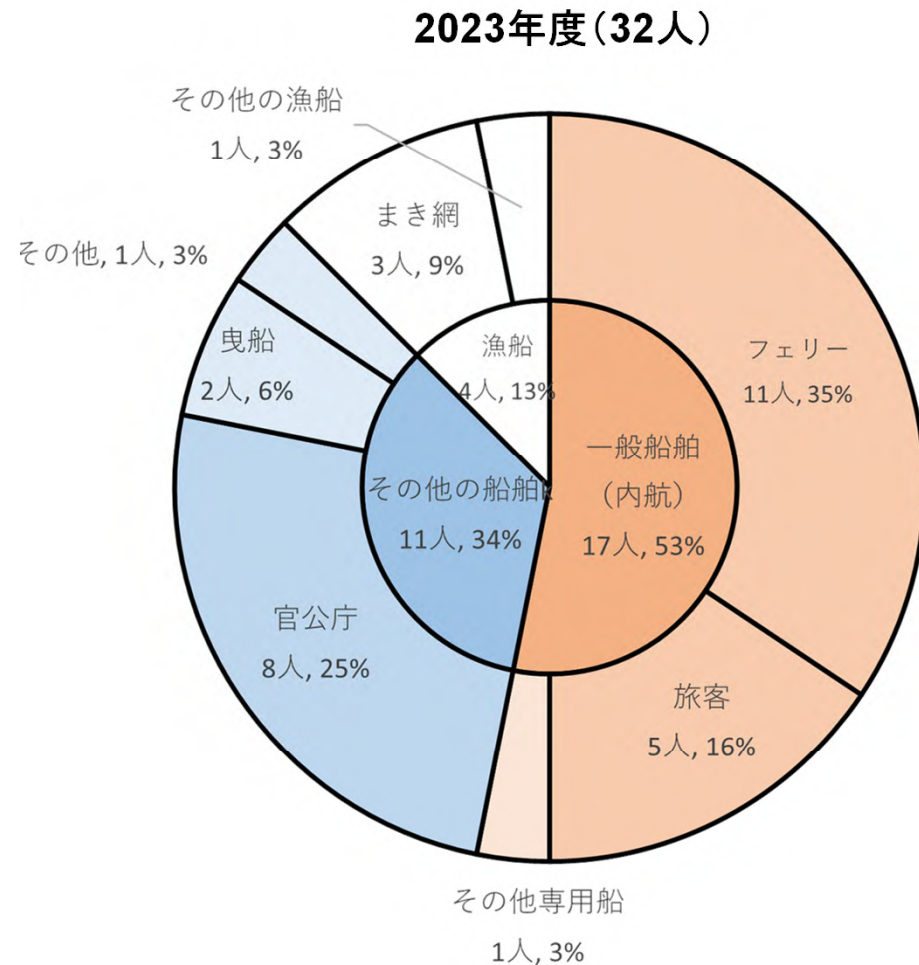
(出典) 陸上は、厚生労働省感染症発生動向調査（定点報告）の季節性インフルエンザ患者報告者数から船員政策課において算出
船舶は、「船員災害疾病発生状況報告集計書」から船員政策課において算出

- 疾病（メンタルヘルス系疾病*）については、第11次基本計画年度平均（2018～2022年度）からの悪化がみられる。
- 2023年度のメンタルヘルス系疾病の発生件数は、全体で32人（32/504人）。前年度（29人）と比べ3人増加。
- 近年の推移からは、増加傾向又は減少傾向があるとはいえない。

*メンタルヘルス系疾病：精神行動障害のうち、統合失調症、気分障害、神経症、その他の精神行動障害



- 2023年度のメンタルヘルス系疾病の船種別内訳は、内航フェリーが35%（11人）、官公庁船が25%（8人）、内航旅客船が16%（5人）。
- 近年、内航フェリーや内航旅客船といった旅客を運送する船舶が多い傾向がみられる。



- 死傷災害のうち、「転倒」「はさまれ」「動作の反動・無理な動作」「転落・墜落」が約60% (2022年度約60%)。
- 死亡・行方不明となった死傷災害のうち、「海中転落」が75% (2022年度約60%)。
- 疾病のうち、生活習慣病に関連するものが全体の約30% (2022年度約40%)。
- 第11次基本計画年度平均 (2018～2022年度) と比べ、感染症の占める割合の増加がみられる。

<死傷災害>

○死傷災害の種別発生状況

	一般船舶	漁 船	その他	合 計	計
					割合
転倒	41人	60人	24人	125人	26%
はさまれ	31人	30人	16人	77人	16%
動作の反動・無理な動作	19人	12人	17人	48人	10%
転落・墜落	21人	15人	11人	47人	10%
飛来・落下	14人	21人	0人	35人	7%
切れこすれ	8人	17人	3人	28人	6%
激突され	8人	13人	6人	27人	6%
まき込まれ	3人	19人	2人	24人	5%
激突	6人	8人	2人	16人	3%
海中転落	5人	5人	1人	11人	2%
踏み抜き	7人	3人	1人	11人	2%
その他	11人	10人	7人	28人	6%
合計	174人	213人	90人	477人	100%

○死亡・行方不明となった死傷災害の種類

	一般船舶	漁 船	その他	合 計	計
					割合
海中転落	1人	4人	1人	6人	75%
激突され	0人	1人	0人	1人	13%
海難	0人	1人	0人	1人	13%
合計	1人	6人	1人	8人	100%

<疾病>

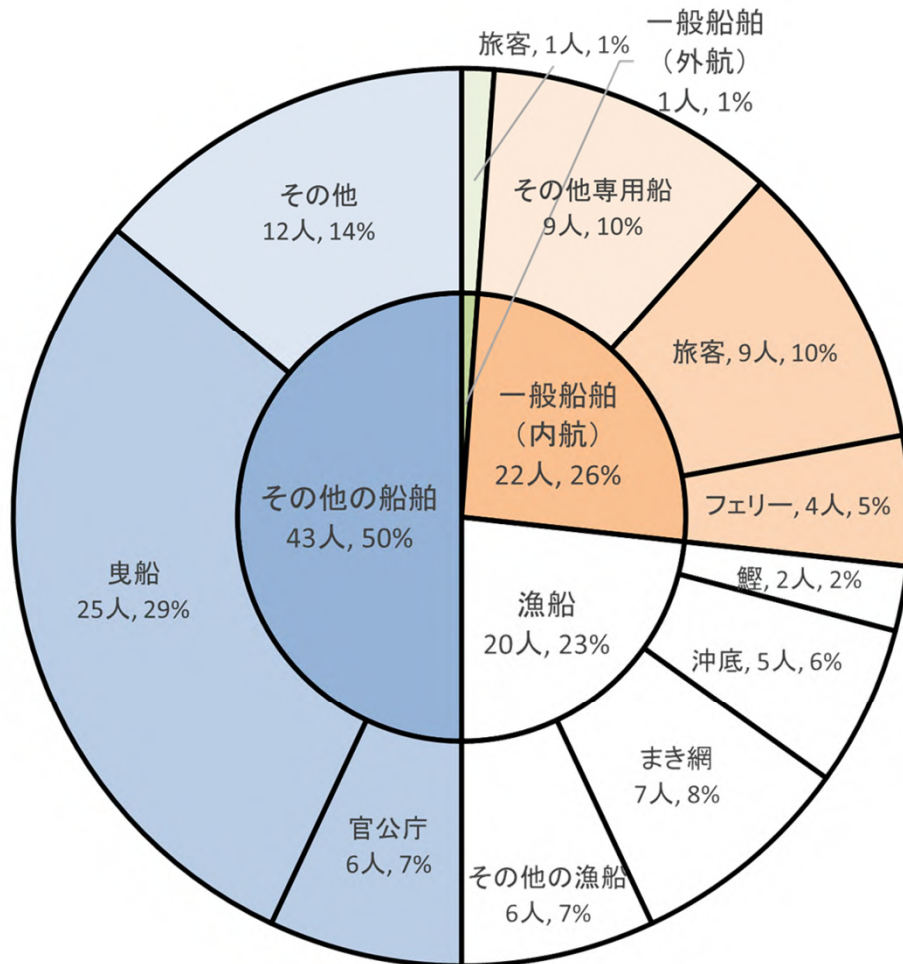
○疾病の種別発生状況

	第11次実績平均		2023年度	
	人数	割合	人数	割合
感染症	47人	10%	87人	17%
筋骨格系	79人	16%	74人	15%
循環器系	69人	14%	70人	14%
消化器系	74人	15%	58人	12%
新生物	45人	9%	36人	7%
呼吸器系	36人	7%	36人	7%
精神行動障害	22人	5%	34人	7%
その他	110人	23%	109人	22%
合計	482人	100%	504人	100%

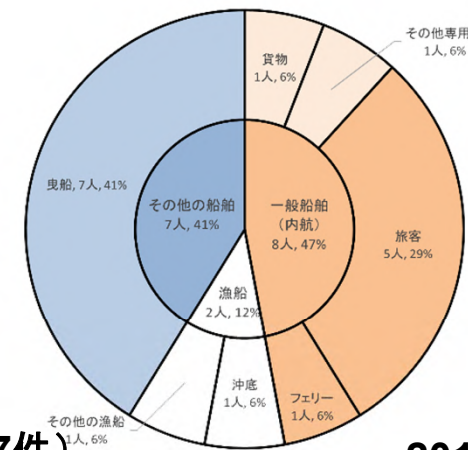
※赤枠は、生活習慣病関連

- 2023年度のインフルエンザの船種別内訳は、その他の曳船が29%(25人)、内航旅客が10%(9人)、まき網が8%(7人)。
- 近年、一般船舶(内航、外航)では、それぞれ旅客やフェリーといった旅客を運送する船舶が多い傾向がみられる。

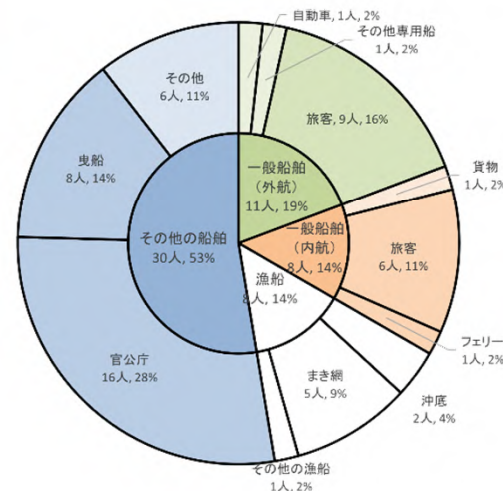
2023年度(86件)



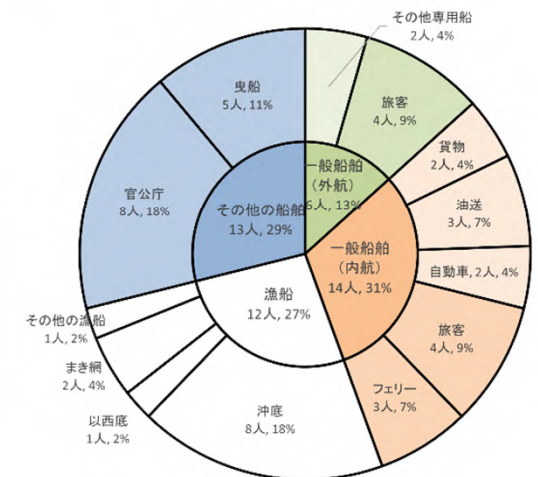
2022年度(17件)



2019年度(57件)



2018年度(45件)



(注)2021年度、2020年度は0件